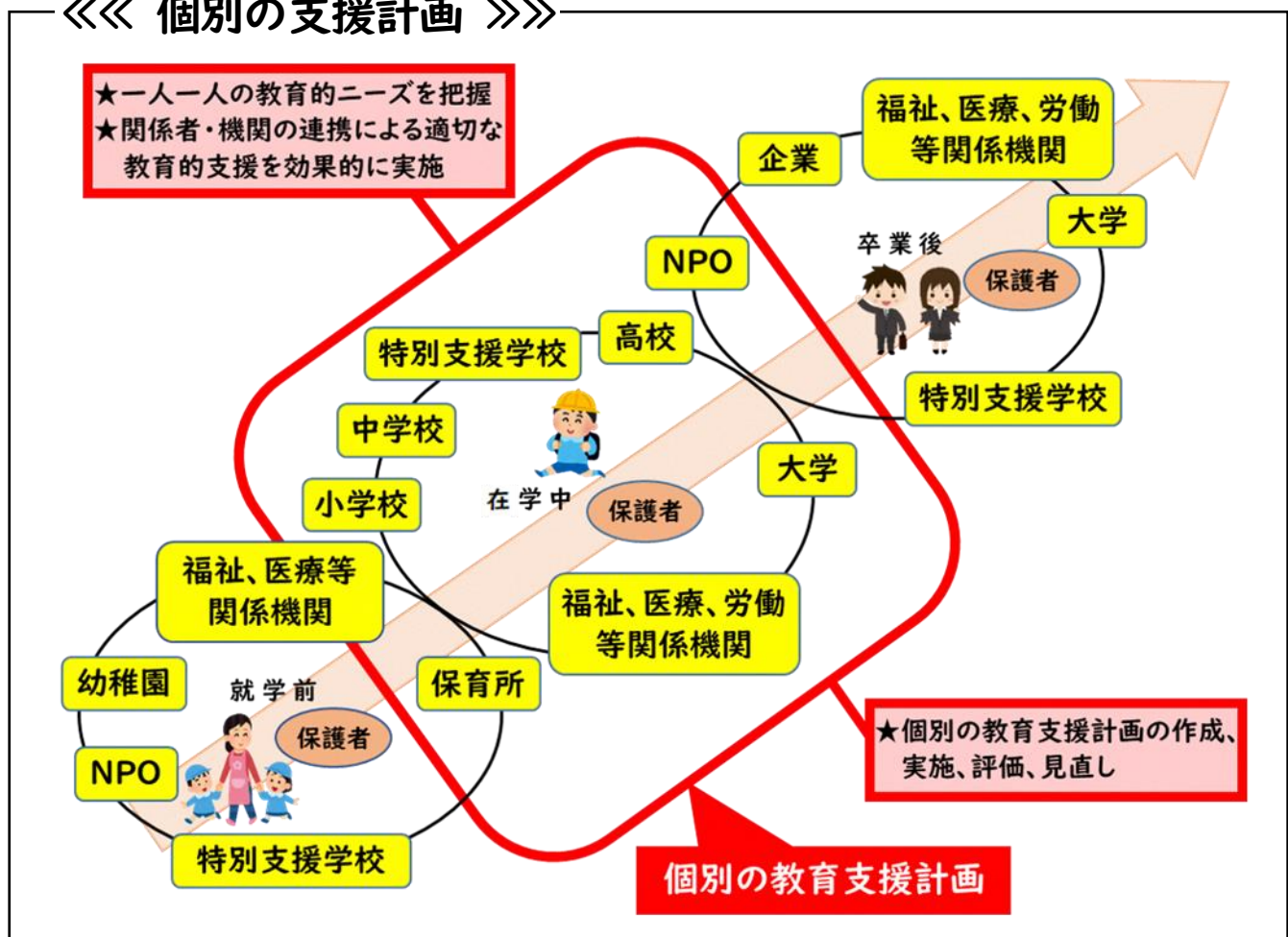


切れ目ない一貫した支援に向けて

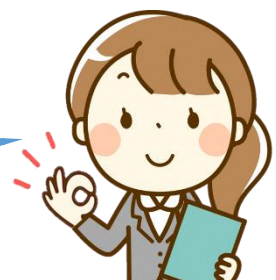
「個別の教育支援計画」は、困り感のある児童生徒等一人一人に必要なとされる教育的ニーズを正確に把握し、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までを通じて、一貫した的確な支援を行うことを目的に作成されるものです。個別の教育支援計画の活用にあたっては、例えば、就学前に作成される個別の支援計画を引き継ぎ、在学中の教育支援の目的や内容を設定したり、在学中の教育支援の目的や内容を進学先に伝えたりするなど、就学前から在学中、そして進学先まで、切れ目ない教育支援に生かすことが大切となります。

《《《 個別の支援計画 》》》



Aくんへのこれまでの支援内容や、合理的配慮の提供等について、引き続きよろしくお願いします。

引き継いだ個別の教育支援計画について、職員間で共通理解を図りました。Aくんは新しい環境の中でも力を発揮しています。



天草地域の特別支援教育推進についての理解・啓発リーフレット

あま はし 天のかけ橋



「天のかけ橋」は、子どもと支援者の心と心、子どもたちを支援する人たちの心と心がつながっていくことを、天草の島々を結ぶ橋になぞらえたものです。

特別支援教育は、「特別なこと」ではありません

特別支援教育は、子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を育てるため、教育を行う上で一人一人の子どもに必要なことをつかみ、子どもたちの持つ可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困りごとを改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。



天草地域特別支援連携協議会

障がいの有無にかかわらず、 気づいたときに支援のはじまりです

支援をはじめするには、子どもの普段の様子を知ることが必要です。子どもの実態を知る方法としては、様々な検査があります。しかし、最も大切なことはいつも身近で子どもに関わっている保護者や教師などの気づきです。



集団での活動が苦手

勝ち負けに強くこだわる、
ルールが難しい等で
友達とトラブルになる

優先順位がつけられない

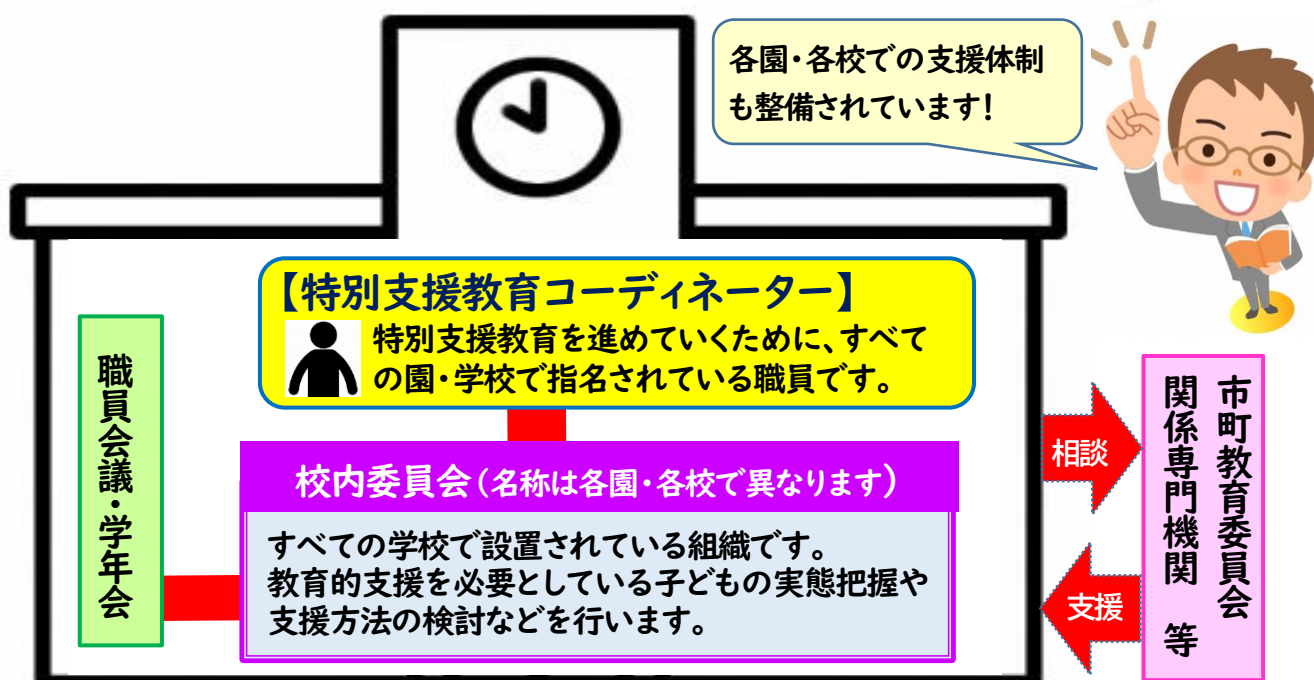
読み書きにとっても
時間がかかる

身の回りの整理整頓が
苦手で、物をなくす
ことが多い

予定を変更すると
不安定になる



気になるときは、まず各園・各校にご相談ください



学校には連続性のある多様な学びの場があります

小学校・中学校・高等学校

通常の学級

すべての子どもにとって分かりやすい授業を目指して指導方法を工夫しています。少数指導や習熟度別指導などによる授業も行います。支援員がつくこともあります。

通級による指導 (小中学校・高等学校)

通常の学級に在籍して、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、必要に応じて特定の学習の場で指導を行います。
※天草管内では一部の学校で行われています。

特別支援学級 (小中学校)

障がい種別の学級で、一人一人の子どもの教育的ニーズに応じた教育を行います。

特別支援学校

障がいのある子ども一人一人に応じて指導内容・方法を工夫し、より専門性の高い教育を行います。

※熊本県内の特別支援学校：二十四校（令和三年五月現在）

- ◆天草支援学校（障がい種 知的障がい）
- ◆苓北支援学校（障がい種 肢体不自由）



熊本県の高等学校における「通級による指導」について、詳しくは左のQRコードからご覧ください。

幼・保、小、中、高等学校及び特別支援学校等が行う交流及び共同学習は、障がいのある子どもにとっても、障がいのない子どもにとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となり、大きな意義を有するものです。

ともに育つ



子どもたちのすこやかな成長を地域とともに支えます

天草で生活をしている特別な教育的ニーズのある子どもたちが、それぞれのライフステージ（就学前・在学中・卒業後）において受けられる支援や福祉サービス、相談先が天草には複数あります。右のQRコードから相談窓口一覧をご覧ください。ご家族やお一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

